

留学支援で名学館と提携

ライトハウスエデュケーション

全国規模の相談窓口拡充へ ネットワーク

総合的な教育サービスを手掛ける、ライトハウスエデュケーション(本社 浜松市中区佐鳴台、松下一徳社長、電話053・449・1144)は、留学支援事業「ISC留学net」で個別指導塾の全国チェーンの名学館ホールディングス(統轄事業本部東京都港区、佐藤剛司代表)と業務提携した。名学館が持つ全国規模のネットワークを活用し、海外留学あっせんの需要獲得につなげるのがねらい。名学館の塾に留学相談窓口を設置し、塾講師を通じて塾生に留学の周知を図る。



業務提携した大場会長(左)と名学館の佐藤代表

ライトハウスエデュケーションは、静岡県西部で学習塾や英語教室を展開して

医療法人鉄友会宇野病院(岡崎市中岡崎町、宇野甲矢人理事長)はこのほど、同病院の新しいハビル棟5階さくらホールで「ヴァイオリン・ソナタの夕べ」を開いた。患者や地域住民ら約150人が演奏会を訪れ、

いる。社内に留学支援を行う組織「ISC留学net」を設け、海外留学のあっせんや手続きの代行などをサービスとして提供している。

ISC留学netには、全国の各都道府県の教育事業者が加入している。各地の学習塾や予備校、英語教室が窓口となり、海外留学を希望する学生の相談を受け付ける。

ISC留学net本部が専門的な知識やノウハウを生かして、

か、留学希望者を適切な留学先へと送り出す。本部は留学の仲介料や事務手続きの手数を収益とする仕組み。年間平均で約100人の留学生を誕生させている。

国内では留学あっせん業者が、関東地方や関西地方の都市部に限定され、その他の地方では相談窓口が不足しているのが実情だ。

地方の留学相談の受け皿として開設したISC留学netは、行き場のなかった留学相談の需要を着実に獲得し、ネットワークの範囲を北海道から沖縄県まで広げた。2月下旬時点で全国82カ所に拠点を持つ。さらに名学館の約160拠点が加わることで、ネットワークは拡充、強化される。

ISC留学net事業の代表を務める大場規之会長は「教育産業にもグローバル化が迫られている」と話している。